

# 危機管理課

## ○ 防災関係

### 1 災害対策本部の設置

伊勢市地域防災計画に基づき、災害の防止・軽減・応急対策を迅速に実施するため、災害対策本部を設置した。

#### (1) 本部設置回数 6回

設置年月日	注意報・警報名
25. 4. 6	大雨警報
25. 9. 4	大雨警報、竜巻被害による
25. 9.15～ 9.16	大雨、洪水、暴風警報
25.10.15～10.16	大雨、暴風警報
25.10.20	大雨警報
26. 2.14	大雪警報

#### (2) 被害状況（非住家を除く）

年 月 日		25. 9. 4	25. 9.15 ～9.16	25.10.15 ～10.16	26. 2.14
家 屋	全 壊	—	—	—	—
	大規模半壊	—	—	—	—
	半 壊	—	—	—	—
	床上浸水	—	—	—	—
	床下浸水	—	1	—	—
	一部破損	28	2	2	2
	一部被害	30	—	—	62

### 2 災害時要援護者宅家具固定事業

過去に発生した大規模な災害では、住宅内の家具の転倒により多くの死傷者が発生した。その中でも、高齢者、障がい者などの災害時要援護者の方が被災されるケースが多数見受けられたため、要援護者を対象に家具固定事業を実施した。

ア 件 数 48件

イ 申込期間 第1回 平成25年9月2日～18日

第2回 平成25年12月2日～20日

ウ 実施日 第1回 平成25年10月27日、11月17日

第2回 平成26年2月16日

### 3 地域防災力向上支援事業

#### (1) 地域防災マップ作成事業

地域住民が「わがまち」を認識し、災害に強いまちづくりを行うことを目的として、地域住民主体のタウンウォッチングを行い、避難経路等の意識共有を行うとともに、それらの情報を記載した防災マップを作成した。

- ・作成実績 今一色、宇治浦田、船江

#### (2) 防災講習・防災講座の実施

南海トラフ地震等の大規模地震の発生が危惧されている中、地域における防災の取組みを促進するため、自治会や自主防災組織及び小中学校等からの要請に応じ、防災講習や防災講座を実施した。

- ア 実施回数 143回
- イ 参加人数 11,812名
- ウ 実施内容
  - ・緊急時の行動や家庭内での防災対策の説明
  - ・園児、児童、生徒への防災教育
  - ・三重県防災啓発車による地震体験
  - ・災害時の避難行動訓練

#### (3) 研修会の実施

職員の防災知識の向上を図るため、災害時の中心的役割を果たす危機管理課職員等を対象に研修を実施した。

- ア 実施年月日 平成26年2月28日（金）
- イ 参加人数 6名（危機管理課4名、維持課2名）
- ウ 研修内容
  - 内容 災害気象情報収集システムを活用した水位予測について
  - 講師 株式会社 ウェザーニューズ

#### (4) 自主防災隊リーダー研修会の開催

地域の自主防災組織の活動に不可欠である中心的役割を担うリーダーの育成を図るため研修会を開催した。

- ア 実施年月日 平成25年6月22日（土）
- イ 参加人数 145名
- ウ 研修内容
  - 内容 「伊勢市防災マップの解説と自主防災隊の取り組みについて」  
「地域防災と災害時要援護者支援」
  - 講師 伊勢市防災アドバイザー

### 4 伊勢市防災会議の開催

災害対策基本法の規定に基づき、伊勢市地域防災計画の修正等を行うため、伊勢市防災会議を

開催した。

- ア 開催年月日 平成 26 年 3 月 20 日 (木)
- イ 内 容 議事 地域防災計画の大規模改訂について  
平成 25 年度の地域防災計画の修正について  
報告 避難判断マニュアルの情報共有について  
平成 25 年度の事業成果について  
その他 三重県地震被害想定調査結果の概要について

5 災害用民間井戸登録の普及

災害時における生活用水の確保と市民の防災意識の向上を図るため、災害用井戸の登録を募集し、水質検査の結果、17件を登録、総数が172件となった。

6 災害用物資、資機材の整備及び機械器具の購入

伊勢市地域防災計画に定める備蓄計画に基づき、非常用食料等を購入し、物資及び資機材の整備を図った。

(1) 災害用物資、資機材の整備

種類	品目	備蓄目標	購入品目・数量		備蓄総量
食料	ビスケット	72,300食	ビスケット	7,800食	79,383食
	アルファ米		アルファ米	5,200食	
	アルファ米 (アレルギー対応)		アルファ米 (アレルギー対応)		
	アルファ米(お粥)				
飲料水	ペットボトル	72,300 <sup>リットル</sup>	ペットボトル (500ミリリットル)	9,600 <sup>リットル</sup>	72,376 <sup>リットル</sup>
衣料品	毛布	16,200枚	毛布	1,000枚	16,395枚
災害救助物資	折り畳み式リヤカー	35台	—	—	35台
ブルーシート	ブルーシート	5,500枚	—	—	3,176枚
生活必需品	救急箱	35箱	—	—	68箱
	おむつ	200袋	—	—	621袋
	生理用品	500袋	—	—	1,832袋
	仮設トイレ	35基	—	—	177基
その他			簡易トイレ (200回/箱)	100箱	72,700回分

(2) 医療資機材の配備

平成25年 7 月 18 日に伊勢地区医師会と災害時における医療救護活動に関する協定を締結し、医療救護活動を迅速に行うため、救護所として使用する各中学校の保健室に医療資機材を配備した。

- ・ 1 校あたり ファーストエイドキット 1 セット  
メディカルブランケット 36 枚

## 7 備蓄倉庫の整備

小中学校に備蓄してある既存物資を高所へ移転するため、また、新規に物資を備蓄するために、校舎に備蓄倉庫を整備した。

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
東大淀町 地内	東大淀小学校備蓄物資保管置場設置工事	備蓄物資保管置場設置一式	円 446,250	25. 7. 17	25. 8. 16
二見町 地内	二見中学校備蓄物資保管用パーテーション設置工事	スチールパーテーション設置一式	934,500	25. 7. 17	25. 8. 16
計	2件	—	1,380,750	—	—

## 8 災害協定の締結

災害発生時に迅速な応急対策を行うため、民間事業所等と災害時の応援協定を締結した。

締結先	締結年月日	協定の名称
三重県	25. 4. 12	災害時における災害時要援護者の支援に関する協定
国土交通省三重河川国道事務所	25. 7. 11	映像情報の提供に関する協定
伊勢地区医師会	25. 7. 18	災害時における医療救護活動に関する協定
三重県立伊勢工業高等学校	25. 8. 7	災害時における避難所としての使用に関する協定
三重県立宇治山田高等学校	25. 8. 7	災害時における避難所としての使用に関する協定
三重県立伊勢高等学校	25. 10. 7	災害時における避難所としての使用に関する協定
伊勢地区歯科医師会	25. 10. 17	災害時における歯科医療救護活動に関する協定
三重県立明野高等学校	25. 10. 17	災害時における避難所としての使用に関する協定
三重県立伊勢まなび高等学校	25. 10. 17	津波発生時における津波緊急避難所として学校施設の使用に関する協定
民間マンション等所有者	25. 11. 25	津波発生時における津波緊急避難所としての使用に関する協定
全日本冠婚葬祭互助協会	25. 11. 26	災害時における葬祭業務等の協力に関する協定
三重県立宇治山田商業高等学校	25. 12. 6	災害時における避難所としての使用に関する協定
民間マンション等所有者	25. 12. 6	津波発生時における津波緊急避難所としての使用に関する協定

(注)平成25年度末の協定締結数 74件

9 伊勢市防災行政無線（デジタル同報系）の整備

災害発生時に市民の生命・財産の安全確保を図り、応急対策、災害復旧・復興に関する業務を遂行するため、平成22年度から『伊勢市防災行政無線（デジタル同報系）整備工事』による無線設備の更新及び統合を行い、平成25年度で完了した。

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
伊勢市内 地内	伊勢市防災行政無線（デジタル同報系）屋外拡声子局整備工事	屋外拡声子局整備 ・新設 7基 ・既設子局の更新 60基	円 216,662,250	25. 7. 10	26. 3. 20

10 アナログ戸別受信機の回収

防災行政無線のデジタル化により廃止した、旧二見町、旧小俣町のアナログ戸別受信機を回収した。

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
伊勢市内 地内	アナログ戸別受信機回収業務委託	回収ボックスの設置 戸別受信機の回収	円 971,250	26. 1. 29	26. 3. 26

11 自主防災補助事業

伊勢市自主防災補助金等交付要綱に基づき、次のとおり補助金及び助成金を交付した。

- (1) 自主防災組織結成数 125隊
- (2) 訓練助成金 82件 2,460,000円
- (3) 防災補助金 93件 10,510,000円
  - ア 自治会 33件 2,168,000円
  - イ 自主防災組織 60件 8,342,000円

12 自主防災隊資機材購入事業

地域防災の活性化を図るため、自主防災組織が未結成の地域で新規に結成された自主防災組織へ災害発生時に活用できる資機材を配備した。

- ・資機材配備自主防災組織 2隊：矢持町自主防災隊、神菌町自主防災隊  
資機材費：906,822円

13 避難対策事業

- (1) 伊勢市地域防災計画等改訂業務委託

既存の地域防災計画を見やすくスリム化する「整理」と地域防災計画及び災害時マニュアルを実行性のあるものにする「改訂」に着手した。（平成25年度～平成26年度の2か年事業）

- ・地域防災計画の大幅な内容の見直し・充実
- ・BCP（業務継続計画）の作成
- ・災害対応手順のフローチャート化

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
伊勢市内 地	(注)(注1) 伊勢市地域 防災計画等 改訂業務委 託	地域防災計画の大幅な内容の 見直し・充実 BCP（業務継続計画）の作 成 災害対応手順のフローチャー ト化	円 9,655,200	25.11.8	27.3.13

(注)平成26年度債務負担行為

(注1)平成26年度へ一部繰越

## (2) 伊勢市ハザードマップの増刷

防災講習会資料及び転入者への配布分として、伊勢市ハザードマップを増刷した。

施行場所	件名	概要	金額	着手	完了
伊勢市内 地	伊勢市ハザードマッ プ印刷	ハザードマップの増 刷(5,000部)	円 469,350	25.11.27	25.12.10

## (3) 津波避難訓練の実施

宮川左岸沿岸部(豊浜・北浜地区)において、津波避難訓練を実施した。

- ・開催年月日 平成25年12月15日(日)
- ・参加者数 2,144名

## 14 避難所等への戸別受信機の設置

災害時における避難所等への情報伝達体制の確立を図るため、防災行政無線戸別受信機の設置に関する調査を実施し、受信機の設置工事に着手した。

### (1) 戸別受信機設置調査

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
伊勢市内 地	伊勢市防災行政無 線戸別受信機設置 調査業務委託	設置場所調査 電波伝搬調査	円 1,169,280	25.10.3	25.11.15

## (2) 戸別受信機設置工事

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
二見町茶屋 地内ほか	(注)(注1) 伊勢市防災行政無線戸別受信機設置工事	既設戸別受信機撤去 一式 既設外部アンテナ撤去 一式 同軸ケーブル延長 一式 戸別受信機設置 一式 外部アンテナ設置 一式	円 7,592,400	26. 3. 20	26. 6. 17

(注)平成26年度へ繰越

(注1)維持課施行

## ○ 防犯関係

### 1 伊勢市防犯推進協議会の活動

「伊勢市防犯活動の推進に関する条例」の目的を達成するために、事業計画を策定し、市民の防犯意識の高揚と自主防犯活動の推進を図り、より安全で安心できる市民生活の確保に努めた。

#### (1) 地域安全講習会の開催

平成25年4月19日から平成26年3月24日の間に、32回開催し、1,020名の受講者があった(対象は、自治会・老人会等)。

- 内 容
- ・防犯DVDによる啓発(振り込め詐欺、悪徳商法など)
  - ・伊勢警察署員及び伊勢度会地区生活安全協会職員による管内の犯罪等の発生状況について
  - ・防犯アドバイザーから地域の防犯対策について
  - ・チラシ、その他啓発用品等を配布し、啓発に努めた。

#### (2) 街頭啓発活動の実施

平成25年4月15日から平成26年3月14日の間に、振り込め詐欺及び街頭犯罪被害防止啓発活動を12回実施した。

- 内 容
- ・伊勢警察署員及び伊勢度会地区生活安全協会職員とチラシ、その他啓発用品等を配布し、啓発に努めた。

#### (3) 防犯情報による啓発

平成25年5月2日から、伊勢警察署や市内の学校から寄せられた不審者情報や振り込め詐欺情報、犯罪発生情報の「防犯情報」を、希望される方にメール配信を開始した。

#### (4) 防犯モデル地区の指定

地域住民が防犯に対する理解と認識を深め、連帯意識を高めて、自主的な地域安全活動を推進できるようモデル地区を指定し、自主的な防犯活動の支援を行った。

- 指定地区 一之木町会、田尻町会 指定期間 平成24年度から平成25年度  
指定地区 辻久留台自治会、神久連合町内会 指定期間 平成25年度から平成26年度

(5) 「伊勢市自主防犯団体連絡会総会」の開催

各自主防犯団体間の連携を強化し、さらなる資質の向上と防犯活動の活性化をさせるため、「伊勢市自主防犯団体連絡会」の総会を開催し、年間事業計画を策定した。

開催日 平成25年4月25日(木)

開催場所 伊勢市ハートプラザみその

(6) 「伊勢市自主防犯団体連絡会講演会」の開催

住民のみなさんに防犯意識を高めていただき、地域ぐるみで防犯活動に取り組むことで、より安全で安心なまちをめざすための講演会を開催した。

開催日 平成25年4月25日(木)

開催場所 伊勢市ハートプラザみその

講師 四日市市三滝台自治会 防犯パトロール隊 前隊長 丸山昌久氏(四日市市)

演題 防犯パトロールによる安全なまちづくりと絆づくり

参加者 約150名

(7) 全国地域安全運動における「みんなでつくろう安全・安心のまちフェスタ」の開催

伊勢警察署が主催で、伊勢度会地区生活安全協会・伊勢市・伊勢市自主防犯団体連絡会が共催し、基調講演を開催した。

開催日 平成25年10月19日(土)

開催場所 伊勢市ハートプラザみその

講師 皇學館大学 准教授 板井正斉氏

演題 長続きする防犯ボランティアのヒントとは?

参加者 約180名

(8) 危険箇所等の情報収集

自治会へ、各地域の「防犯上の危険箇所」及び「犯罪誘発箇所」の実態調査を依頼し、把握した箇所の具体的な防犯対策を講じるための取組をした。

## 2 防犯灯に係る補助金及び助成金交付

自治会が実施する防犯灯の整備に対し、「伊勢市防犯灯整備事業補助金交付要綱」及び「伊勢市防犯灯助成金交付要綱」に基づき補助金及び助成金を交付することにより、地域の防犯環境の整備を支援した。

- ・防犯灯新設 96灯(旧伊勢72灯、旧二見9灯、旧小俣5灯、旧御薮10灯)
- ・防犯灯修繕 2,623灯(旧伊勢1,984灯、旧二見198灯、旧小俣256灯、旧御薮185灯)
- ・LED取替 1,039灯(旧伊勢757灯、旧二見53灯、旧小俣181灯、旧御薮48灯)
- ・防犯灯電気代 12,706灯(旧伊勢9,263灯、旧二見825灯、旧小俣1,796灯、旧御薮822灯)



### 3 防犯パトロールの実施

児童・生徒に対して登下校時に発生している不審者による声かけ事案等からの被害防止を図るため、防犯パトロールを実施した。

内 容 市内全小中学校周辺及び不審者出没地域を重点に、下校時にあわせて青色回転灯装着車でパトロールを行った。

## ○ 危機管理関係

### 1 不当要求行為関係

不当要求防止責任者である各所属長を対象に研修を開催し、不当要求等に組織で対応すること等を指導した。また、三重県公安委員会による責任者講習会を受講させた。

開催年月日	内 容	対象者	参加人数
25. 8. 8	不当要求対応研修 平成25年度に所属長へ昇格した職員を対象に開催した。	新規所属長	11名
25. 10. 7	不当要求防止責任者講習会 三重県公安委員会による責任者講習会を受講した。	責任者講習会未受講の各部課長	18名

# 防 災 施 設 整 備 課

## ○ 避難所等整備事業

### 1 津波避難施設整備

津波の浸水が予測される避難困難地に津波避難施設関連の整備を行った。

・委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
一色町内 地	(注) 津波避難施設用地測量業務委託(その2)	用地測量 A=0.200ha 基準点測量 2点 現地測量 一式	円 1,258,950	25. 3.29	25. 9. 4
有滝町内 地	(注) 津波避難施設用地測量業務委託(その3)	用地測量 A=0.065ha 基準点測量 4点 現地測量 一式	1,267,350	25. 3.29	25. 7.23
大湊町内 地	(注) 津波避難施設用地測量業務委託	用地測量 A=0.310ha 基準点測量 4点 現地測量 一式	1,510,950	25. 4.12	25. 6. 7
大湊町 地内ほか	(注)(注1) 津波避難施設造成設計業務委託	造成実施設計 2か所	7,994,700	25. 4.26	25.11.29
村松町内 地	(注)(注2) 村松町津波避難施設新築工事設計業務委託	施設名称 村松町津波避難施設 構造 鉄筋コンクリート造 規模 200㎡程度	2,212,350	25. 5.31	25. 9.20
〃	(注)(注1) 津波避難施設地質調査業務委託	ボーリング工 1か所	1,723,050	25. 6. 7	25. 7.19
大湊町内 地	(注)(注1) 大湊町津波避難施設地質調査業務委託	ボーリング工 1か所	2,173,500	25. 6. 7	25. 8. 5
有滝町内 地	(注1) 有滝町津波避難施設地質調査業務委託	ボーリング工 1か所	1,824,900	25.10.25	25.12.12
一色町内 地	(注)(注1) 一色町津波避難施設造成設計業務委託	造成実施設計 1か所	5,218,500	25.11. 1	26. 3.28
〃	(注)(注1) 一色町津波避難施設地質調査業務委託	ボーリング工 1か所	2,710,050	25.11. 1	26. 1.15
大湊町内 地	(注)(注2) 大湊町津波避難施設新築工事設計業務委託	施設名称 大湊町津波避難施設 構造 鉄筋コンクリート造 規模 830㎡程度	4,305,000	25.11.29	26. 3.14
計	11件	—	32,199,300		

(注) 平成24年度から繰越

(注1) 基盤整備課施行

(注2) 建築住宅課施行

・工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
村松町 地内	(注2) 村松町津波避難施設 新築工事	津波避難施設 1基	円 54,017,250	25.11.15	26.3.28
大湊町 地内	(注)(注1) 大湊町津波避難施設 造成工事	現場打擁壁工 267m 側溝工 201m 集水柵工 7基 管渠工 27m アスファルト舗装工 265㎡	40,893,300	25.12.13	26.3.14
計	2件	—	94,910,550		

(注) 平成24年度から繰越

(注1) 基盤整備課施行

(注2) 建築住宅課施行

・用地取得

場所	事業名	筆数	面積	金額
大湊町 地内ほか	津波避難施設用地	筆 6 (2)	㎡ 5,170.64 (2,132.19)	円 12,963,607

( )内は寄附による取得、内数を示す

2 外付階段及び屋上フェンス設置工事

津波の浸水が予測されている地域の公民館に外付け避難階段と屋上への転落防止用フェンスの取付け工事を実施した。

・工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
御菌町 小林地内	(注) 小林公民館外付け避難階 段等設置工事	外付階段設置 一式 屋上フェンス設置 一式	円 12,285,000	25.8.30	25.11.27

(注) 建築住宅課施行

### 3 避難所看板設置工事

避難所の見直しに伴い、避難所看板の更新を行った。

・工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
宇治館町 地内ほか	(注) 避難所看板設置工 事	看板設置工 117基	円 42,423,150	25.11.1	26.3.14
船江1丁目 地内ほか	(注) 避難所看板撤去工 事	看板撤去工 183基	3,759,000	26.1.10	26.3.20
二見町茶屋 地内ほか	(注)(注1)(注2) 観光客避難誘導看 板設置(その1)工 事	看板設置工 15基	5,229,360	26.4.25	26.7.11
計	3件	—	51,411,510		

(注) 監理課施行

(注1) 観光事業課へ執行委任

(注2) 平成26年度へ繰越